

平成29年度

## 平成29年度 駒込ダム建設所 職員紹介

4月恒例！？の集合写真です。（前列の4名が入れ替わった職員です。）



一戸主幹  
2年ぶりに県土整備部に戻りました。皆さんの迷惑にならないよう頑張ります。

石岡所長  
駒込ダム建設所への赴任は初めてです。よろしくお願いいたします。

栗生主幹  
6年ぶりに戻ってきました。外見は様変わりしましたが、以前と同じ気持ちで、本体工事着工に向けてがんばります。よろしくお願いいたします。

相坂主査  
ダムの現場は初めてですが、雨にも負けず風にも負けず、元気いっぱい頑張ります！

## 新年度にあたって

このたび、駒込ダム建設所長に赴任いたしました石岡と申します。

今回の人事異動により当所では4名の職員が入れ替わりました。気持ちを新たにして、駒込ダムの早期完成を目指すとともに、下湯ダムと浅虫ダムの効果(※1)を十分に発揮するため、少ない人数ながらも常にチームワークを心掛けて業務に取り組み、地域の安全・安心に貢献していきたいと思っております。一年間、職員一同、よろしくお願いいたします。

※1；昨年の台風第10号洪水時の下流河川の水位低減効果等について、県河川砂防課や駒込ダム建設所のHPに掲載されていますのでご覧ください。

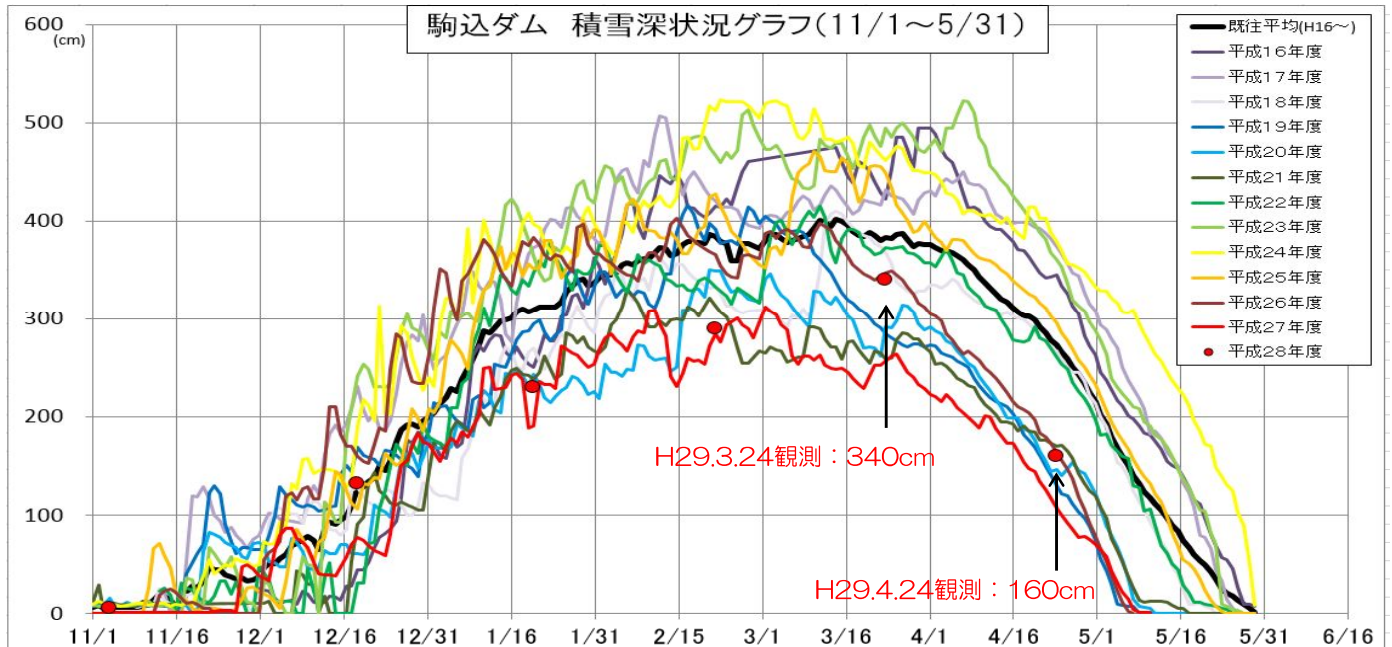
河川砂防課HP：[http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/dam\\_kouka.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/dam_kouka.html)

ダム新聞HP：[http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/ao-kendo/barrage-journal\\_108.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/ao-kendo/barrage-journal_108.html)

## 駒込ダム建設予定地 積雪状況

駒込ダム定点観測箇所における積雪状況を報告します。観測場所などの詳細については弊紙第55号を参照ください。

先月(3/24)は積雪深340cm、今月(4/24)は160cmとなっており、着実に雪解けが進んでいます。ちなみに気象庁酸ヶ湯観測所では調査日同時刻において、先月は365cm、今月は236cmとなっています。



鉄塔の根本は地面が見えていました。



4月24日

## 駒込ダム4号工事用道路 現場状況

現場にはまだまだ雪がありますが、工事に1日でも早く着手できるように除雪を行い、4月20日から工事に着手しました。11月までの短い期間ですが、安全管理に留意し、事故が無いよう、集中的に工事を進めていきます。



4月6日 除雪状況



4月20日 工事着手



## 洪水対応演習を実施しました！

駒込ダム建設所では、梅雨、台風等の出水期を前に、ダムの防災操作を的確に行うことを目的とした「洪水対応演習」を実施しました。

この演習は、全国のダムで毎年5月頃に実施しているもので、当所が所管する2ダム（下湯、浅虫）においても、台風による異常洪水でダムが満水状態に達したことを想定し、ダムの防災操作に関する訓練を行いました。

当日は、大雨洪水警報の発令後、ダムの流入量や貯水位等の変化に応じて、関係機関への通知を行ったほか、各警報局や警報車のサイレンを鳴らし、一般への周知を行いました。サイレンは鳴らす機会が少ないため、警報時は緊張感が漂いますが、実際に鳴らしてみることによって関係者への理解が深まることから、年に1回とは言え貴重な演習となりました。

関係者のみなさま、御協力いただき、大変ありがとうございました。

### 下湯ダム



警報局の警報起動・動作確認



警報車による一般への周知

### 浅虫ダム



関係機関への情報伝達

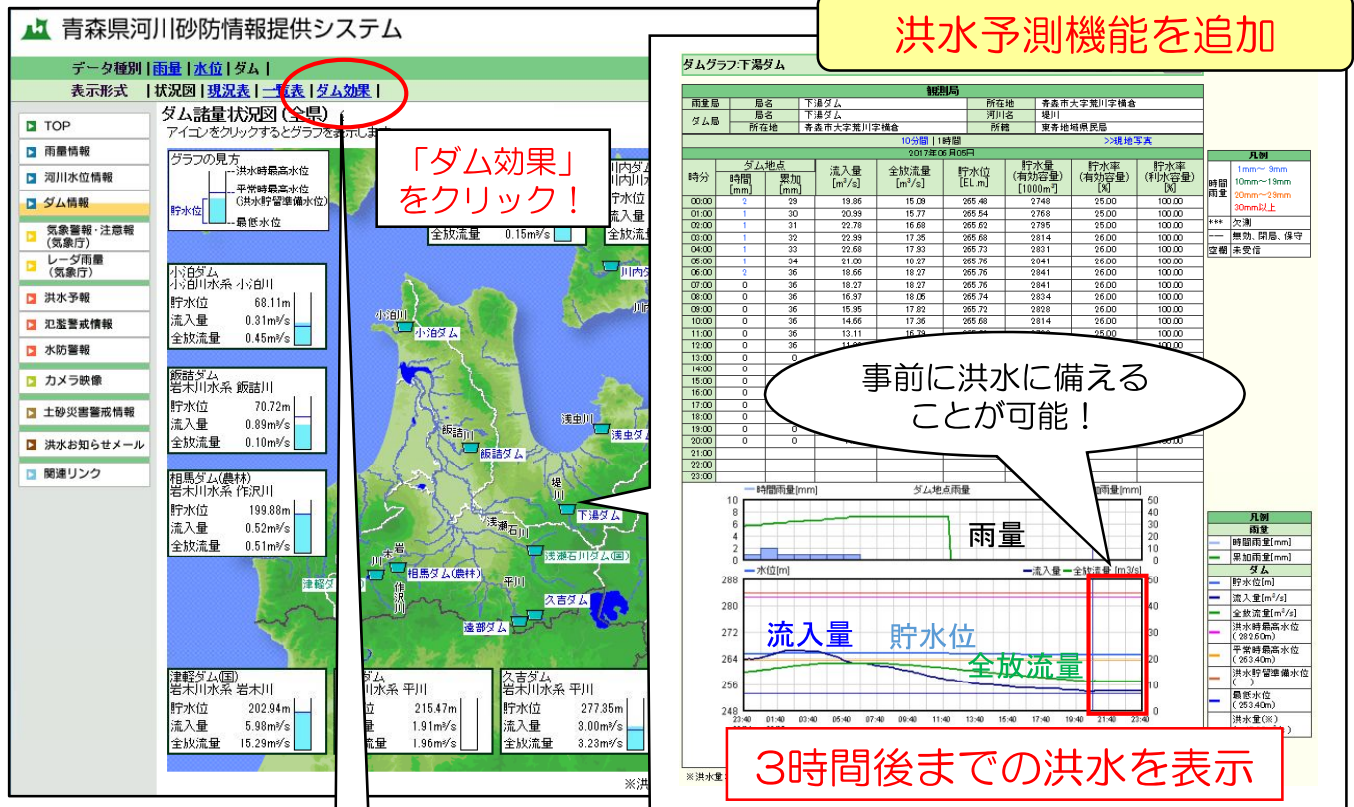


サイレンの吹鳴操作

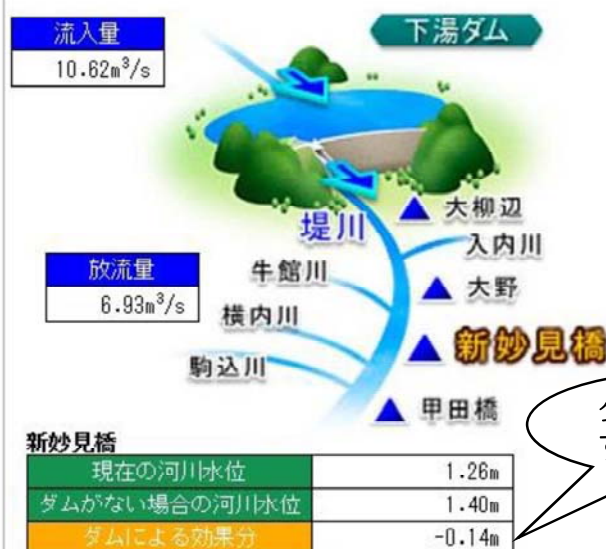
## 《ダムに見える化》 「ダム洪水予測」と「ダム効果」を公表！

県では、ダムの状況や水位低減の効果等をより分かりやすく伝えるため、「ダムに見える化」を行っています。ダム諸量については、これまでも県のホームページで公表していたところですが、数値とグラフのみで分かりにくいところもあったため、平成29年4月から洪水調節効果等が直感的にイメージできるようにしています。

下記情報は常時更新していますので、洪水や渇水時にもご活用ください。



## ダム効果の公表



ダムの効果がすぐわかる！

ダム効果をリアルタイムに公表 (あくまでも速報値です)





## ダム新聞 10周年！！

平成19年6月に第1号を創刊したダム新聞は、平成29年6月で10周年を迎えました。

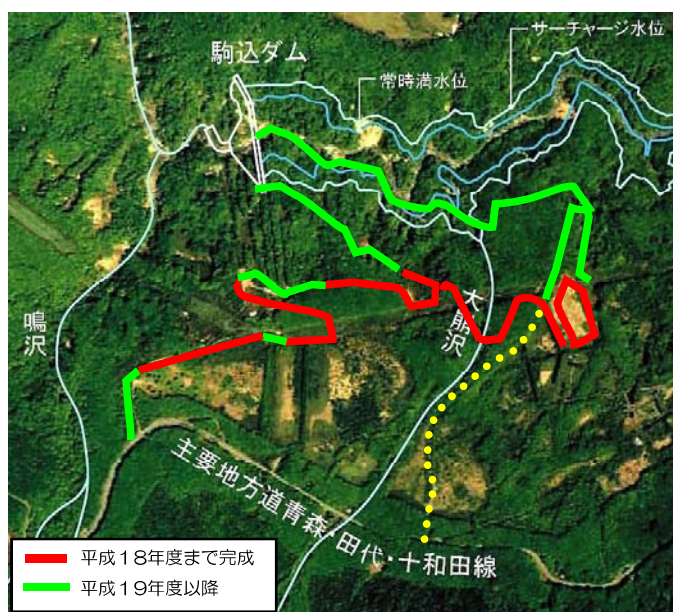
駒込ダムのこの10年のあゆみをまとめてみました。国のダム事業検証や県の再評価委員会など、事業そのものの妥当性を詳細に検討してきたという印象がありますが、いずれも「妥当」や「継続」との評価を受けております。

また、下の写真は工事用道路の10年前と現在の比較写真です。この10年間で、1号道路はほぼ完成（今年度完成予定）、3号道路は平成19年度に完成、4号道路は平成20年に着手して以来、約500m完成しております。

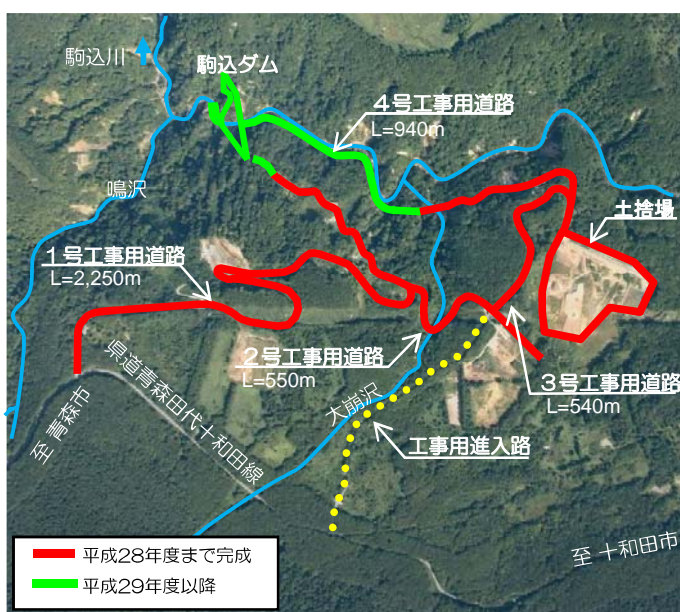
今後もみなさまのご理解を得るために広報を行っていくと共に、ダム本体の早期着工に向けて工事用道路工事を着実に進めてまいります。

### 駒込ダム10年のあゆみ

- 平成19年 6月 ダム新聞 第1号創刊
- 11月 3号工事用道路完成
- 平成20年 6月 4号工事用道路着手
- 6～11月 青森県公共事業再評価等審議委員会（『継続』）
- 平成21年12月～国の「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」開始
- 平成22年 9月 国の「ダム事業検証」開始（県に対してダム事業の検証に係る検討を要請）
- 12～3月 青森県ダム事業検討委員会（『妥当』）
- 平成23年 5月 青森県公共事業再評価等審議委員会（『継続』）
- 8月 国の「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」（『継続』）
- 平成24年～ 駒込ダムの調査・設計等及び工事用道路の整備を継続
- 平成28年 1月 ダム新聞 第100号発行
- 7月 ダム本体実施設計等基本設計会議
- 6～11月 青森県公共事業再評価等審議委員会（『継続』）
- 平成29年 6月～青森県公共事業再評価等審議委員会（審議中 計画変更：事業期間5年延伸『了承』）
- 6月 ダム新聞10周年



第1号創刊時（平成18年度まで）



10周年（平成28年度まで）

## 駒込ダム 4号工事用道路工事 現場進捗状況

4号工事用道路工事の進捗状況の報告です（概要は弊紙114号参照）。

写真左側は、起点側橋梁区間に設置する上部工を工場で製作して仮組した状態です。これをばらして塗装したのち、現場に搬入して設置します。

写真右側は、終点側土工区間の法面对策がほぼ完成した状態です。施工中に法面の一部が崩れたこともありましたが、素早い対応により、工程に影響もなく法面对策を終えることができました。この法面の写真奥側に写真左側の橋梁を設置します。

6月下旬から橋梁下部工の掘削作業に入っており、7月以降本格的に橋梁区間の施工に入っていきます。



メタルロード上部工 工場製作仮組（6月1日）



土工区間の法面对策完成（6月27日）

## 平成29年度 第1回青森県公共事業再評価等審議委員会開催

平成29年度第1回青森県公共事業再評価等審議委員会が6月16日（金）に開催されました。

駒込ダムは平成28年度前半にダムの基本的な構造の検討を終了し、これに基づいて施工条件等を含めて詳細に施工計画等を検討した結果、完成年度が平成38年から平成43年に延びることになりました。

そのため、今年度の審議の対象事業となり、結果、駒込ダムを含む10事業すべてが県案どおりで了承されました（駒込ダム：計画変更『了承』）。

10事業については今後も附帯意見などについて審議が行われ、10月頃に委員会の意見が正式にまとめられる予定です。なお、再評価調書等については、県のホームページにおいても公表されています。

(<http://www.pref.aomori.lg.jp/kensei/seisaku/h29-saihyouka.html>)



再評価委員会の審議状況

## 所長からのコメント（10周年を迎えて）

「ダム新聞」もとうとう(?)10周年を迎えました。この10年は、ダムの計画や設計を一から検討し直した10年でもありました。先輩方の努力に敬意を表するとともに、温かく見守ってくださった皆様に感謝申し上げます。

一方で、まだダム本体の着工に至っていないのが現実です。最近の詳細検討により完成年度が多少延びることになりましたが、現役の我々に課せられた仕事は、「堤川下流部や駒込川沿川の安全と安心を図るため、早期にダム本体工事に着工し、1年でも早く完成させること」であることを、このダム新聞10周年に際し再度強く認識し、職員一同努力していききたいと思います。

### 【追記】

一昨年の関東・東北豪雨や昨年の台風第10号による大水害の記憶が新しい中、先日も九州北部で大水害が発生しました。このような豪雨、大洪水はどこでも発生する可能性があります。水害の防止、軽減のため、駒込ダムの整備を進めることはもちろんですが、既存の下湯ダムや浅虫ダムの効果を十分に発揮するため、維持管理もしっかり行っていききたいと思います。

### 【ちょっと休憩】

7月は青森市内神社の宵宮ラッシュ。堤川沿川でも、22日に大星神社、23日に茶屋町延命地蔵尊、24～26日に諏訪神社と続くようです。また21日は堤夜店祭りも開催されるようです。お暇がある方は、川沿いの散歩などもどうぞ・・・。



## 下湯ダムで『森と湖に親しむつどい』を開催！

国土交通省と農林水産省は、国民のみなさんに森や湖に親しみ、心身をリフレッシュしながら、森林やダム等の役割について理解を深めていただくことを目的として、毎年7月21日から31日までを『森と湖に親しむ旬間』と定め、全国各地のダムにおいて各種行事が行われています。当所で管理している「下湯ダム」でも7月5日に『森と湖に親しむつどい』を開催しました。今年は青森市立千刈小学校3・4年生の児童108人が参加！



「ダムをはじめて見た」という子供たちがほとんどで、洪水吐からの「放流」や「水力発電」などを体感し、そのスケール感に驚いていました。森林教室では「森林の働き」や「木からできるもの」などについて紙芝居で学習し、はじめての丸太切りにも挑戦しました。また、青森県防災ヘリコプター「しらかみ」による救助訓練の実演もあり、緊張した面持ちで見守っていました。

今年はテレビ局の取材もあり、大盛況でした。今度は、是非お家の人と遊びに来てください！



ダムって広い！



スプラッシュマウンテンみたくーい！



水力発電の轟音！  
何を話しても聞こえない！！



防災ヘリしらかみ参上！



紙芝居で「森林の役割」を勉強中！



丸太切りに悪戦苦闘！  
コースターとしてお土産に！！



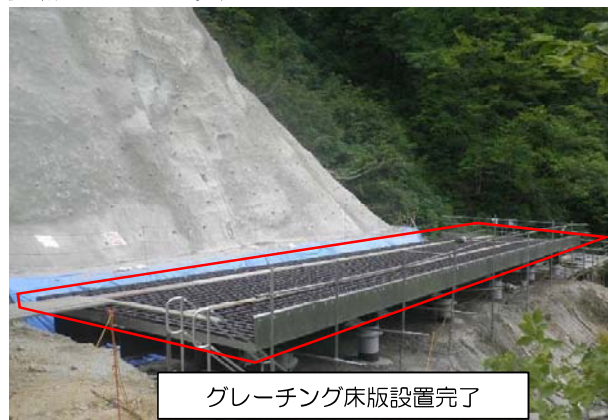
テレビ局のインタビュー！  
堂々の受け答え！！

(おさらい) 下湯ダムの役割：①大雨時の洪水調節、②水力発電や水道用水に利用、③川の自然な流れを確保

## 【駒込ダム工事状況その1】 駒込ダム4号工事用道路工事進捗状況

駒込川上流部に建設中の「駒込ダム」の工事状況をお知らせします。

4号工事用道路は、下部工鋼管杭及び上部工を施工し、その上へのグレーチング床版の設置が終わりました。この1ヶ月で橋の形がだいぶ見えてきました。今後は床版等へのコンクリート打設や橋台の施工を行います。(グレーチング床版については弊紙第109号を参照して下さい。)

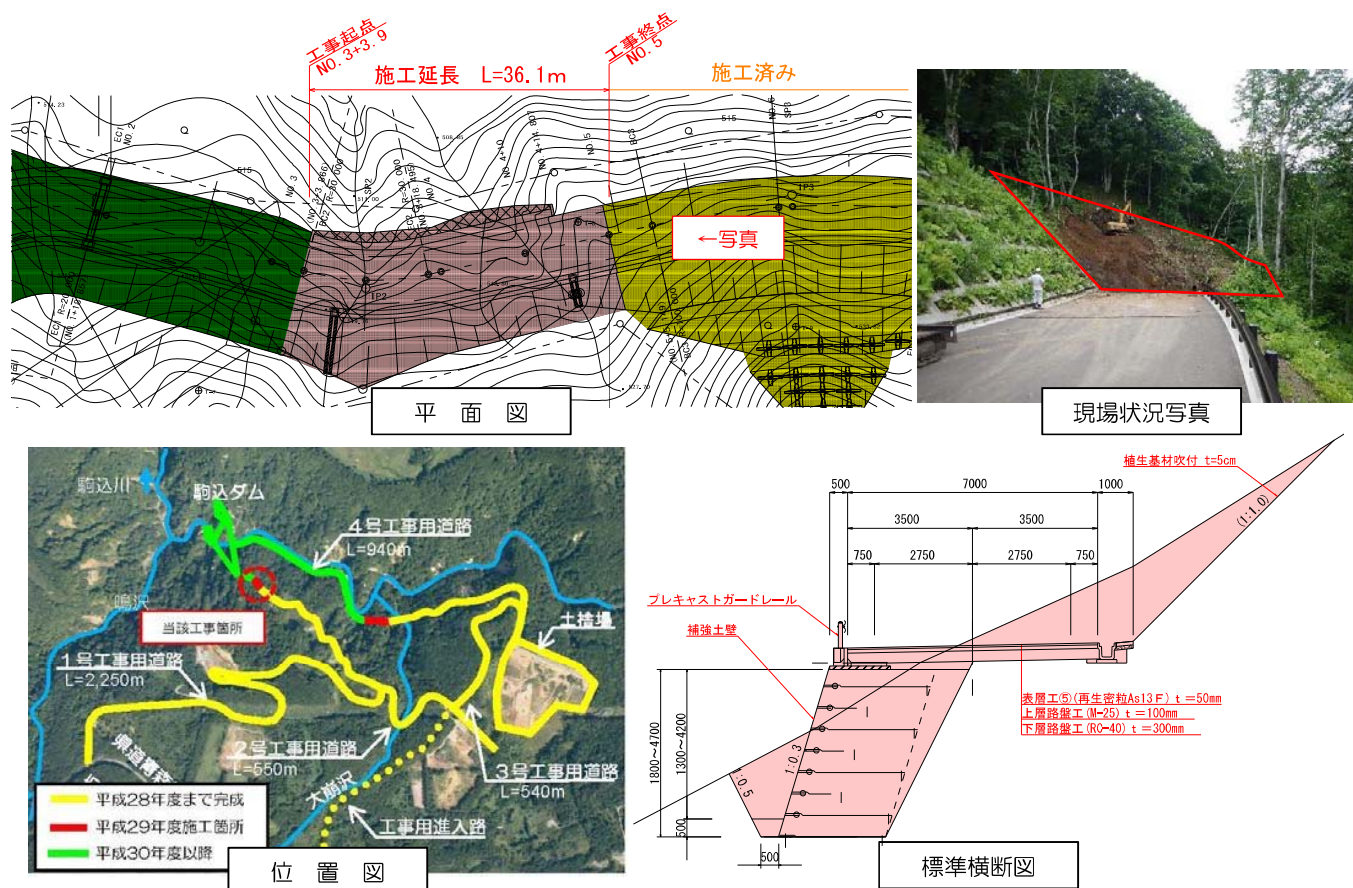




## 【駒込ダム工事状況その2】 駒込ダム1号工事用道路工事発注

1号工事用道路はダムの天端に向かう道路で、ダム完成後は管理用道路として使用します。今回の施工区間は、ダム本体着工前最後の工事として6月下旬に発注し、7月から現場に着手しました。

工事内容は、施工済み区間から引き続き、川側は補強土壁、山側は安定勾配の1:1.0で切土したのち植生基材吹付を行い、走行面はアスファルト舗装を施工するものです。現在工事中の4号工事用道路工事（前ページで紹介）同様に積雪前の完成を目指し、短い期間ではありますが、安全第一で進めてまいります。



## 【トピックス】 平成29年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

7月18日に平成29年度青森県県土整備部優良建設関連業務表彰式が行われ、昨年度に行った「駒込ダム地質調査・解析業務委託（受注者：日本工営(株) 管理技術者：服部一成氏）」が『県土整備部長表彰』を受賞しました。

優良建設関連業務表彰は、県土整備部所管公営が発注した建設関連業務を誠意を持って適正に履行し、優秀な成績で完了した受注者及びその管理技術者を県土整備部長が表彰することにより、建設技術の向上を図り、公共工事の品質確保を促進することを目的としています。

本業務は、駒込ダム本体設計のため、ダム建設予定地周辺における地質調査・解析を行ったものです。現場は非常に急峻な地形であり、特殊な方法による調査でしたが、短期間に品質を低下させることなく作業を完了させました。また、的確な解析を行い関係機関との協議資料を速やかに取りまとめ、了解を得ることに大きく貢献するなど、難易度が高い業務を円滑に進めたことから優良業務と認められたものです。

詳細は、県HPに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

(<http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/kendo-yuuryou-gyoumu.html>)



日本工営(株)のみなさま  
管理技術者：服部一成氏（下段右）



## 県土整備部インターンシップ（大学生） 駒込ダム現場見学（8月23日）

県土整備部では、公共事業の仕組みや技術系公務員の役割等について幅広く知ってもらうとともに、職業意識向上の機会の提供やキャリア教育の一環として、土木系公務員に関心のある県内外の学生などを対象にインターンシップを行っております。今年度は大学生29人が参加し、8月21日～25日までの日程で行われ、23日には駒込ダムの現場見学に訪れました。

当日は濃霧のためダムサイトは見られませんが、駒込ダムの事業概要について説明を受けた後、ダムサイトの地質調査について説明を聴きながら実際のボーリングコアを見ることができ、多少なりとも駒込ダムの本質に触れることができたのではないかと思います。

この参加者の中から、駒込ダムを担当する方が出てきてくれることを大いに期待しています！！



当日は濃霧(T\_T)  
天気が良ければ写真奥にダムサイトが・・・



ダムサイトのボーリングコアを確認  
～来年の県職員採用試験を受けてね～

## 報道機関を対象とした駒込ダム現場見学（8月24日）

8月24日、報道機関を対象とした駒込ダム現場見学会を開催しました。

ダムサイト展望所で駒込ダムの事業概要の説明を行った後、工事中の1号工事用道路と4号工事用道路を見学して、進捗状況などを確認していただきました。天候は前日のインターンシップの現場見学から一転して、ダムサイトも眺めることができました。今後も各方面の関係方々に御理解と御協力をいただきながら、駒込ダム建設事業の広報活動に力を入れていきたいと思ひます。



ダムサイトも確認できました！



工事中の4号工事用道路を見学

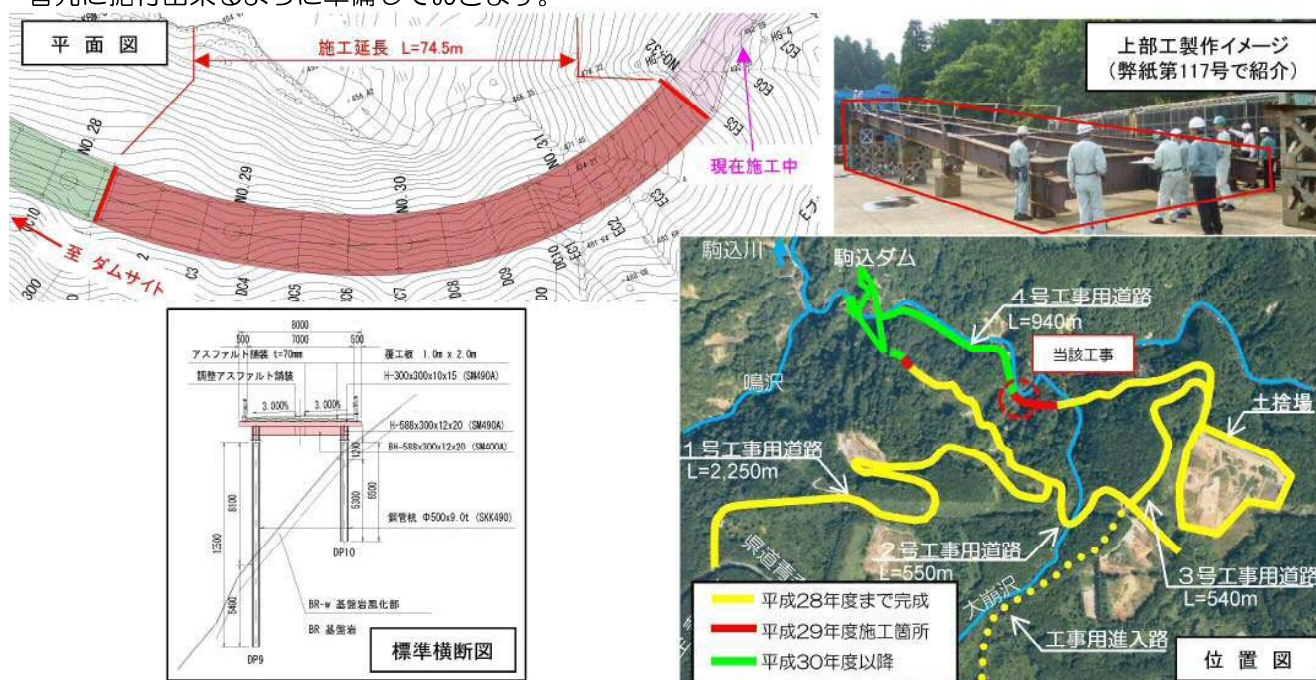


## 【駒込ダム工事状況】 駒込ダム4号工事用道路工事発注（橋梁桁製作）

駒込川上流部に建設中の「駒込ダム」の工事状況をお知らせします。

4号工事用道路を延伸するために橋梁部分の桁製作工事を8月上旬に発注しました。

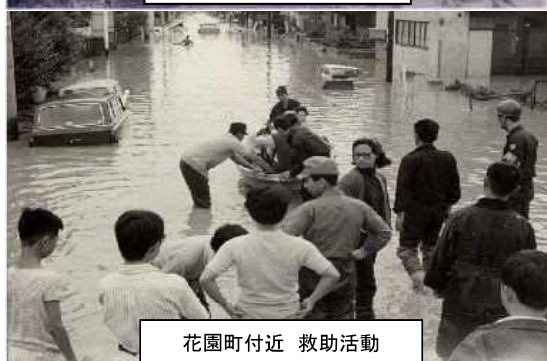
桁は工場で製作するため現場での作業はありませんが、製作に時間がかかることから、冬の間に製作して春先に据付出来るように準備しておきます。



## 昭和44年8月23日の堤川大水害を振り返る ～忘れるな！！～

昭和44年8月23日は、堤川水系の治水事業が本格化するきっかけとなった、台風第9号による大水害が発生した日です。今から48年前のことであり、もうすぐ半世紀が経過します。

8月号ということもあり、当時の写真を掲載しました。昨年の台風第10号による北海道や岩手県などの大水害、今年7月の九州北部豪雨災害など、日本国内で大水害が頻発していることから、48年前の青森市の大水害の写真を見て、改めて駒込ダムを含めた堤川水系の治水対策の必要性を認識しました。（詳細は弊紙第44号に掲載しております。）





## 駒込ダム工事状況

駒込川上流部に建設中の「駒込ダム」の工事状況をお知らせします。

現在、下記5件の工事を進めています。（位置図の①～⑤）

- ① 4号工事用道路（弊紙第114号参照）  
2号橋の一部設置
- ② 1号工事用道路（弊紙第118号参照）  
擁壁工、法面工
- ③ 残土処理場の法面保護工（今回初登場！）  
伐木材をチップ化したものを切土面に吹付けて  
切土面を保護すると共に植生を図る。
- ④ 残土処理場の排水工（今回初登場！）  
降雨・融雪時に残土処理場に溜まる水を排出する。
- ⑤ 4号工事用道路（弊紙第119号参照）  
①工事に続く2号橋の上部工の桁を先行して製作  
※工場製作のみ



### 【① 4号工事用道路】

橋梁部の橋面防水工も終わり、残りはアスファルト舗装を残すのみ！



### 【② 1号工事用道路】

斜面を切土した後、植生基材吹付工を行う予定でしたが、切土面が水を含むと崩れやすい土質であったことや、切土面からの湧水も確認されたことから、カゴの中に割栗石を詰めたドレンカゴを設置して法面保護と湧水処理を行うこととしました。





### 【③ 残土処理場の法面保護工】

残土処理場を整備する際に発生した切土面が裸地の状態となっているので、環境に配慮しながら植生を促すために、現地の伐木材をチップ化したものを切土面に吹き付けます。法面を保護すると共に、現場発生材の有効利用を図ります。



今回施工箇所。切土面が裸地のままで、降雨等により浸食される恐れも・・・



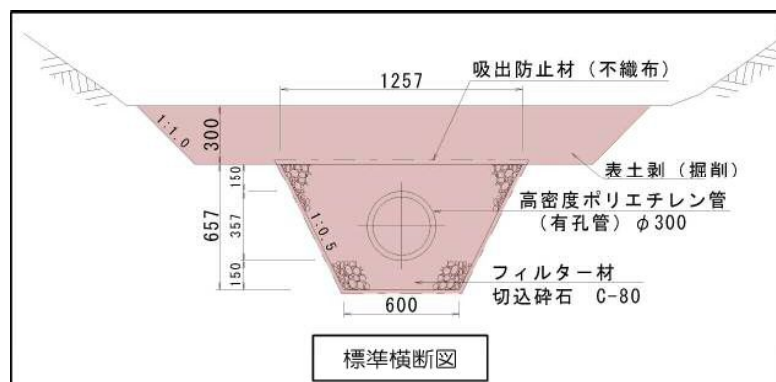
昨年度施工箇所。H29年8月撮影。  
周辺から種が飛んで来て、  
少しずつ植生が図られています。



(参考) 昨年度の吹付直後のチップの状況

### 【④ 残土処理場の排水工】

水はけが悪く、降雨時や融雪時に水が溜まり、湿地状態となっている箇所があります。残土搬入に支障をきたすため、排水工を設置して湿地状態を改善します。



排水工施工箇所。湿地状態となっている。

### 【現場作業は残り約1ヶ月！！】

駒込ダムの現場は、11月に入ると雪が降り始めるため、10月末頃までに工事を終わらせる必要があります。9月から始まった工事もありますが、受注者と連絡を密にして工程管理をしっかりと行い、残り約1ヶ月、安全第一に進めて平成29年度の工事を終りたいと思います。

### 駒込ダム建設地周辺をドローンで撮影しました！

駒込ダム建設地周辺をUAV（Unmanned aerial vehicle（無人航空機）通称：ドローン）で撮影しました。容易に高さや角度を変えられるので、さまざまな写真を撮ることができます。ダム天端に向かう1号道路と、駒込川河床に向かう4号道路の高低差が見えたり、残土処理場の全体が見えるなど、現場の状況を把握する良い資料になっています。今後も1年に1回程度撮影し、高い位置から広範囲に撮影できる空中写真と併せて、駒込ダムの経年変化をまとめていきたいと思います。



駒込ダム右岸側から撮影。  
1号道路はほぼダムサイト天端付近に到達！



上流側から撮影。  
1号道路と4号道路の高低差が分かる。



残土処理場を撮影。  
高い位置からの撮影と違い、状況が分かりやすい！